

N8103-237/238 RAIDコントローラ ファームウェア適用手順

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、N8103-237/238 RAIDコントローラ ファームウェアの適用に関して記載しています。

1. 対象製品と対象バージョン

下記製品で適用可能バージョンの場合、本書に従い適用してください。

・対象製品

N8103-237 RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)

N8103-238 RAID コントローラ(8GB, RAID 0/1/5/6)

・適用可能バージョン

ファームウェア : 03.01.23.072

2. 適用後のバージョン

適用後のファームウェアバージョンは下記となります。既に下記のバージョン以降が適用されている場合、本ファームウェアの適用は不要です。

ファームウェア : 03.01.30.106

3. 適用に関する注意事項

- ファームウェア03.01.30.106(以降)を適用する場合、バージョン6.25.9.0以降の Smart Storage Administrator (SSA) / Smart Storage Administrator CLI (SSACLI) をご使用ください。6.25.9.0より前のバージョンの SSA / SSACLI は正常に起動しません。

●Windows環境/Linux環境

2025年1月現在、バージョン6.25.9.0以降の SSA /SSACLI は下記のStarter Packに含まれています。NEC サポートポータル(<https://www.support.nec.co.jp/PSHome.aspx>)よりStarter Packをダウンロードし、SSA / SSACLI をアップデートしてください。

Starter Pack バージョン S8.10-010.09 : SSA /SSACLI バージョン6.25.9.0

Starter Pack バージョン S8.10-010.10 : SSA /SSACLI バージョン6.30.8.0

●ESXi環境

下記のダウンロードサイトよりWBEM プロバイダ(not applicable) およびCLIツールをダウンロードし適用してください。

(VMware ESXi 7.0版)【S8.10-010.09 / S8.10-011.04適用環境】

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010111092>

(VMware ESXi 7.0版)【S8.10-010.10 / S8.10-013.01適用環境】

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010111388>

(VMware ESXi 8.0版)【S8.10-010.09 / S8.10-011.04 / S8.10-012.01適用環境】

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010111093>

(VMware ESXi 8.0版)【S8.10-010.10 / S8.10-013.01適用環境】

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010111389>

※Windows環境、Linux環境、ESXi環境での最新の SSA / SSACLI のバージョンについては、下記のサイトで確認できます。

Express5800シリーズ/iStorage NSシリーズ ファームウェアと関連モジュールのversion管理について(2017年8月～2023年5月出荷開始製品)

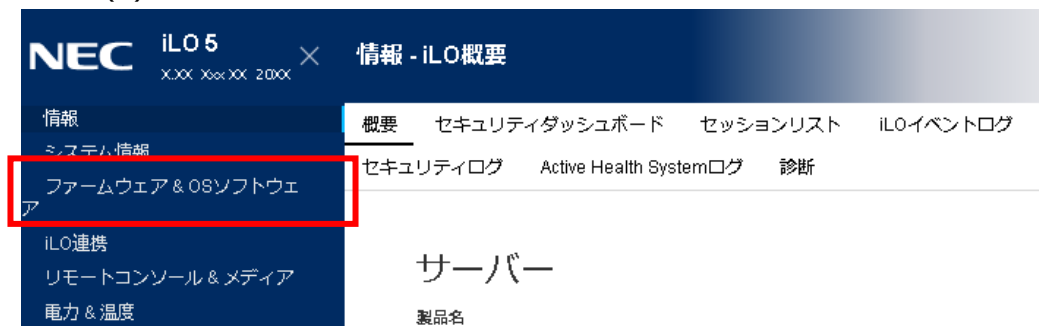
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=3140107582>

- ドライブベイのステータスランプや、OSのログ等をご確認の上、S.M.A.R.T.エラーなどOSブート専用SSDボード上でエラーや警告が発生している場合は、異常を取り除いてから適用してください。

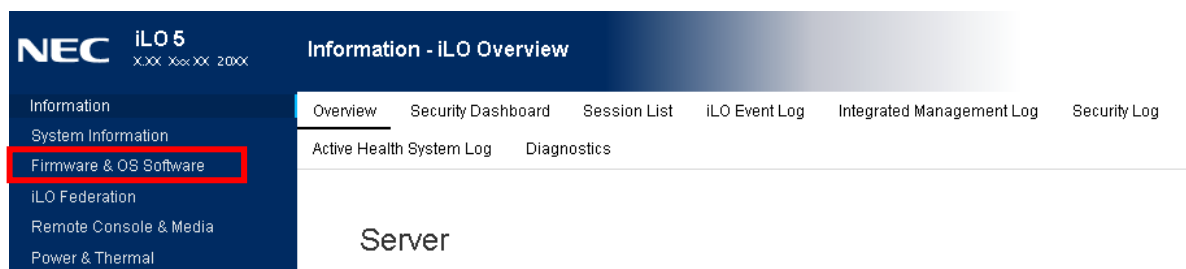
4. バージョン確認方法

対象製品のファームウェアバージョンを確認してください。

- (1) Webブラウザを起動して、アップデート権限(Configure iLO Settings)を持つアカウントで対象サーバーのiLO Web インターフェイスにログインしてください。
- (2) 左側のメニューから「ファームウェア & OS ソフトウェア」タブを選択してください。

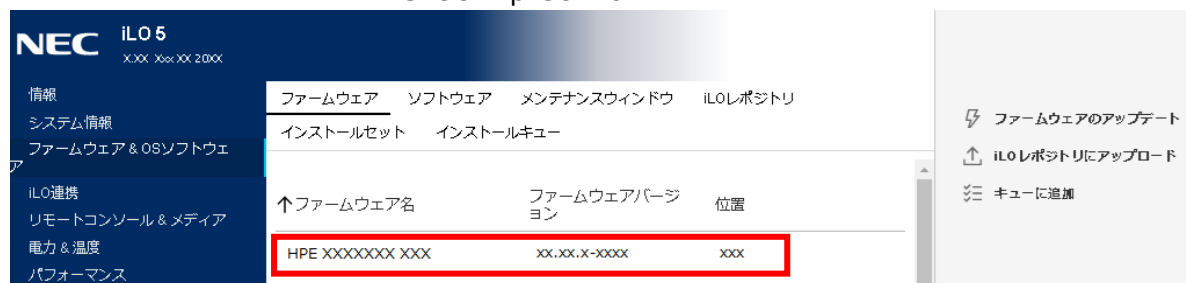


<言語：英語の場合>

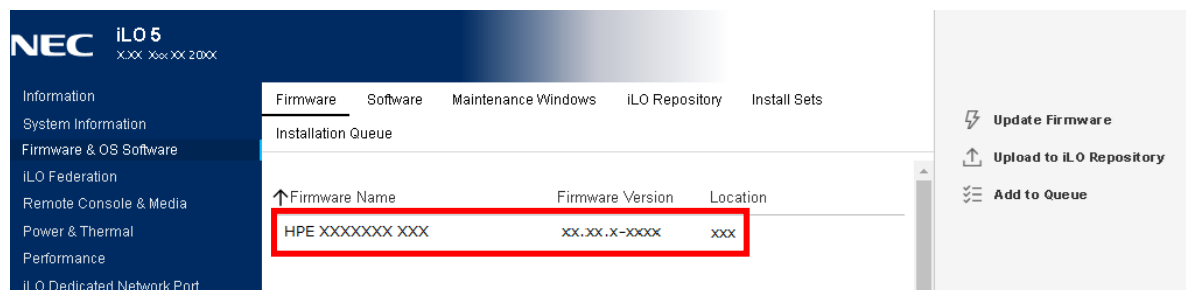


- (3) 下記のファームウェア名の項目を参照して、ファームウェアバージョンを確認します。

ファームウェア名：HPE SR416i-a Gen10+
HPE SR932i-p Gen10+



<言語：英語の場合>



5. ファームウェアの適用手順

5.1 Trusted Platform Module(TPM)搭載有無の確認

- (1) POST起動中(Function Key案内表示後)“F9”キーを押下し、システムユーティリティを起動します。
- (2) システムユーティリティから「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」-「Server Security」-「Trusted Platform Module Options」へと進み、「Current TPM State」を確認します。
- (3) 「Current TPM State」の表示により、下記の通り確認できます。
「Not Present」と表示されている場合は、TPMが未搭載です。
「Present and Disabled」または「Present and Enabled」と表示されている場合は、TPMが搭載されています。

5.2 TPM搭載時の設定変更手順(ファームウェア適用前)

5.1項の確認結果で、対象サーバーにTPMが搭載されていた場合はファームウェアのアップデート前に下記の手順に従いTPMの設定を変更してください。TPMが搭載されていない場合は実施せずに、5.3項に進んでください。

- (1) POST起動中(Function Key案内表示後)“F9”キーを押下し、システムユーティリティを起動します。
- (2) システムユーティリティから「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」-「Server Security」-「Trusted Platform Module Options」へと進み、「TPM Visibility」の設定を[Hidden]に変更します。

※TPMが実装されていない場合はCurrent TPM Stateが【Not Present】と表示されます。

「TPM Visibility」がグレースアウトして変更できない場合は、「System Configuration」-「BIOS /Platform Configuration(RBSU)」-「Server Security」の「Platform Certificate Support」を[Disabled]にしてから、「TPM Visibility」の設定を[Hidden]に変更してください。

上記の箇所に「TPM Visibility」の項目が無い場合は下記手順を実施します。

システムユーティリティ から「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration(RBSU)」-「Server Security」-「Advanced Security Options」-「Platform Certificate Support」を[Disabled]にして、「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration(RBSU)」-「Server Security」-「Trusted Platform Module Options」-「Advanced Trusted Platform Module Options」-「TPM Visibility」を[Hidden]にします。

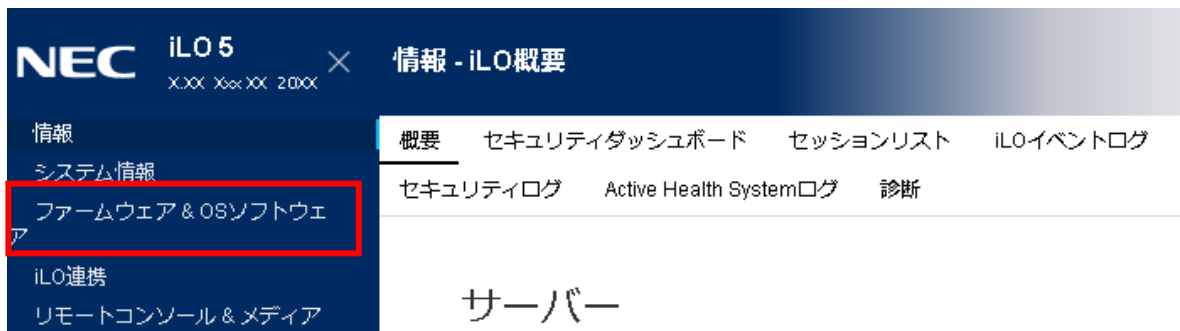
- (3) F10 : Save を行います。
- (4) "Esc"Key を数回押し、システムユーティリティ まで戻り、『Reboot the System』を選択し、サーバーを再起動します。

5.3 ファームウェアの適用

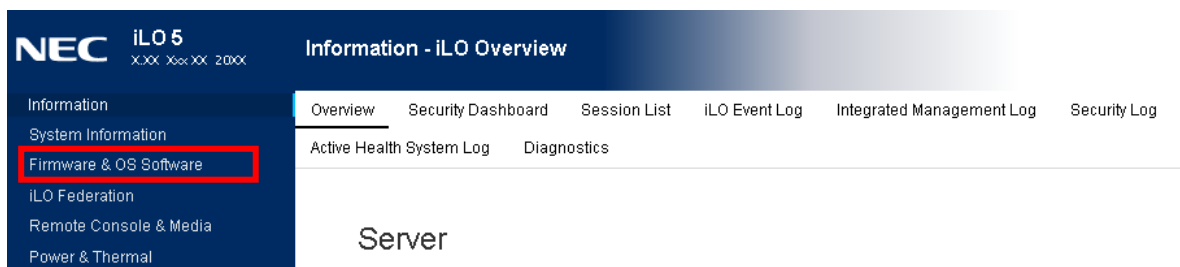
ファームウェアモジュール：

HPE_SR416_SR932_Gen10P_Gen11_03.01.30.106_A.fwpkg

- (1) ダウンロードしたファームウェアモジュールをiLO Web インターフェイスにログインできる装置の任意のフォルダにコピーしてください。
- (2) Webブラウザを起動して、アップデート権限(Configure iLO Settings)を持つアカウントで対象サーバーのiLO Web インターフェイス にログインしてください。
- (3) 左側のメニューから「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択してください。



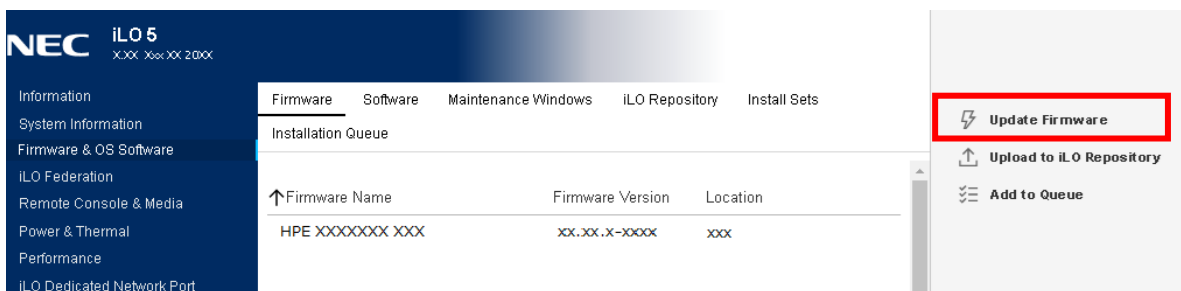
<言語：英語の場合>



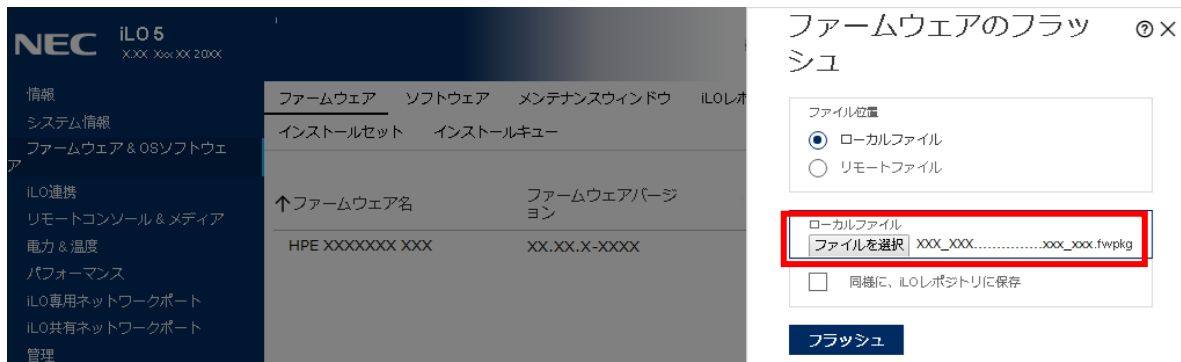
- (4) 右側に表示される「ファームウェアのアップデート」を選択してください。



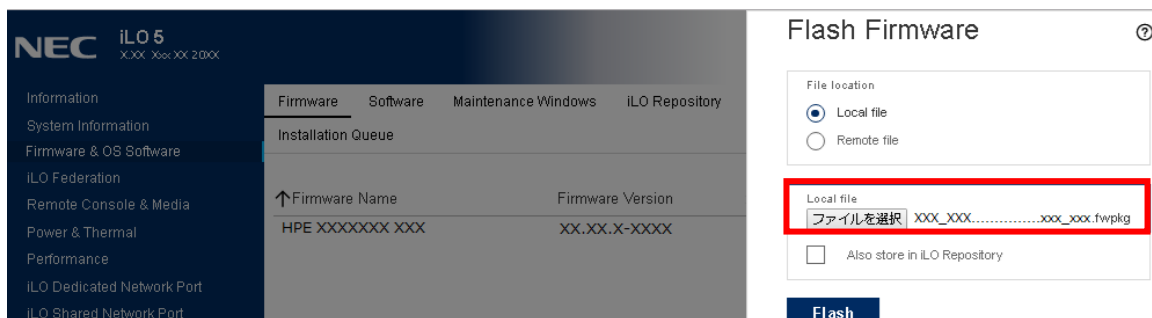
<言語：英語の場合>



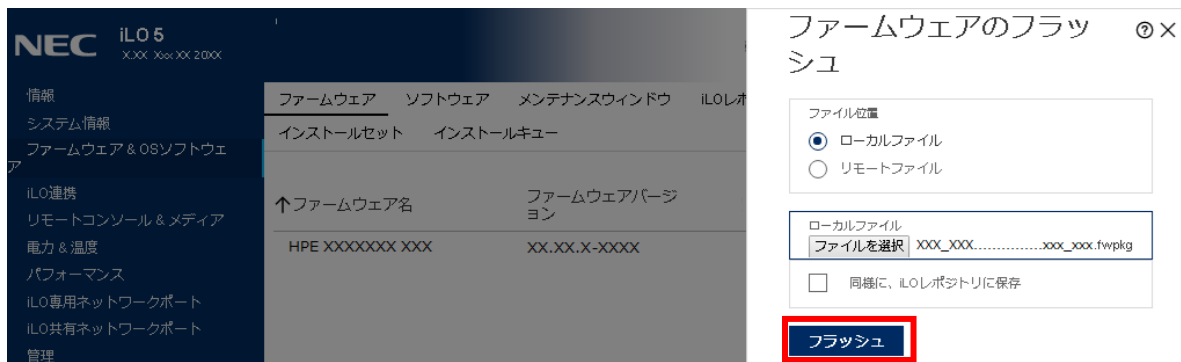
(5) 上記でコピーしたファームウェアモジュール(*.fwpkg)を選択してください。



<言語：英語の場合>



(6) 「フラッシュ」ボタンを押してください。ファームウェアの更新が開始されます。



<言語：英語の場合>

NEC iLO 5
XXX XXX 20XX

Information
System Information
Firmware & OS Software
iLO Federation
Remote Console & Media
Power & Thermal
Performance
iLO Dedicated Network Port
iLO Shared Network Port

Firmware Software Maintenance Windows iLO Repository

Installation Queue

↑Firmware Name	Firmware Version
HPE XXXXXXXX XXX	XX.XX.X-XXXX

Flash Firmware

File location
☒ Local file
☐ Remote file

Local file
ファイルを選択 XXX_XXX_XXXXXXX.fwplg

☐ Also store in iLO Repository

Flash

下記の画面が出てきた場合は、「TPMの無効」にチェックを入れた上で「フラッシュ」ボタンを押してください。

注意: データを失うリスクがあるため、インストールされたTPMまたはTMを使用しているソフトウェアをサスペンドするか、バックアップしてください。続行するには、[TPMの無効]チェックボックスを選択します。

☒ TPMの無効

フラッシュ

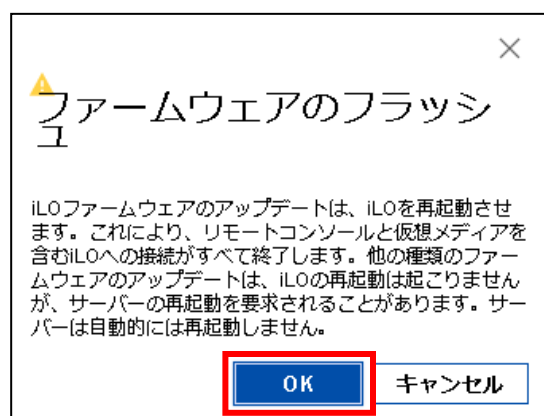
<言語：英語の場合>

CAUTION: Suspend or back up any software that uses the installed TPM or TM, or risk losing your data. Select the Confirm TPM override check box to proceed.

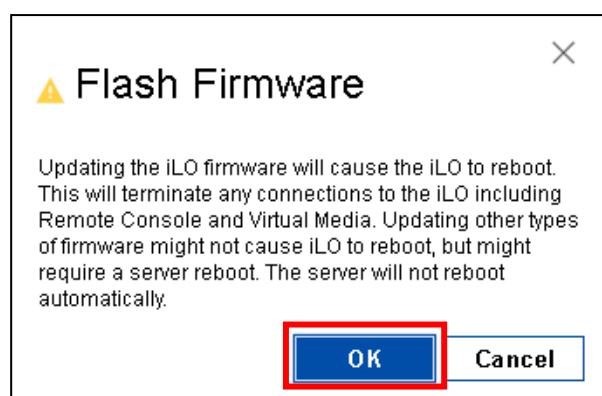
☒ Confirm TPM override

Flash

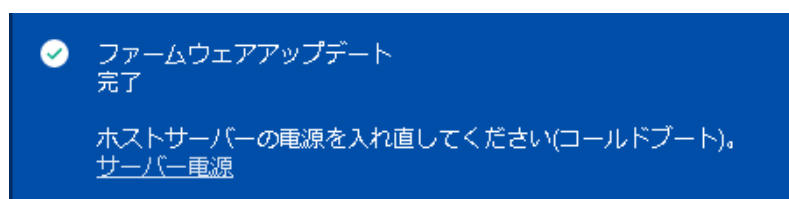
(7) 下記の画面が出てきた場合は「OK」ボタンを押してください。



<言語：英語の場合>



(8) アップデートが進行します。「ファームウェアのアップデート 完了」が表示されるまでお待ちください。



<言語：英語の場合>



- (9) 対象サーバーを再起動してください。
- (10) 再起動後、対象サーバーのiLO Web インターフェイスにログインし、左側のメニューから「ファームウェア&OSソフトウェア」を選択します。
- (11) ファームウェアバージョンが下記になっていたら、ファームウェアの適用は完了です。

ファームウェア名 : HPE SR416i-a/SR932i-p Gen10+

ファームウェアバージョン : 03.01.30.106

- (12) 5.2項でTPMの設定変更を実施していた場合は、5.4項に進んでください。

以上で、ファームウェア適用は完了です。

5.4 TPM搭載時の設定変更手順(ファームウェア適用後)

Trusted Platform Module(TPM)を搭載しているサーバーで、ファームウェア適用前に設定を変更した場合、以下の手順にて元に戻してください。

- (1)POST起動中(Function Key 案内表示後)“F9”キーを押下し、システムユーティリティを起動します。
- (2)システムユーティリティから「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」-「Server Security」-「Trusted Platform Module Options」へと進み、「TPM Visibility」の設定を[Visible]に変更します。

「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration(RBSU)」-「Server Security」の「Platform Certificate Support」を[Disabled]に変更している場合は、[Enabled]に戻します。

上記の箇所に「TPM Visibility」の項目が無い場合は下記手順を実施します。

システムユーティリティから、「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」-「Server Security」-「Trusted Platform Module Options」-「Advanced Trusted Platform Module Options」-「TPM Visibility」を[Visible]にします。

その後「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration(RBSU)」-

「Server Security」-「Advanced Security Options」-「Platform Certificate Support」を[Enabled]に戻します。

- (3)F10 : Save を行います。

- (4)"Esc"Key を数回押し、システムユーティリティまで戻り、『Reboot the System』を選択し、サーバーを再起動します。

■ 本件に関するお問い合わせについて

本書の内容に不明点がある場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

連絡先	: ファーストコンタクトセンター
T E L	: 0120-5800-72
受付時間	: 9:00～12:00 13:00～17:00
	月曜日～金曜日(祝日を除く)

※ 番号をお間違えにならないよう、よくお確かめの上、おかけください。

NEC